

ワークショップ「金融統合に向けたアクションプログラムと新しい挑戦」

## 資本市場の統合と投資機会 ～内外 ETF 市場の価格形成からの一考察～

岩井 浩一（金融庁金融研究研修センター研究官）

### 要旨

金融資本市場の統合は投資機会を変化させ、経済厚生にも影響を与えると考えられる。市場の統合が多様な資産へのアクセスを容易にすれば、投資家は投資機会の増加という便益を得る。その反面、市場が統合されるにつれて資産価格の共振性が高まるようであれば、投資家が分散投資効果の低下というコストを負担することも考えられる。

本報告では、効率的なインデックス運用の投資手段として、また、多様な資産クラスへの分散投資手段として近年注目を集めている ETF に着目し、金融資本市場の統合と投資機会との関係を整理する。また、我が国 ETF 市場の制度や価格形成の特徴を踏まえたうえで、本邦投資家が ETF を利用して金融資本市場の統合から十分な便益を享受できるか否かについて考察する。

### 略歴

1994 年東京大学経済学部卒、2003 年マッコーリー大学応用ファイナンス修士課程修了、2010 年大阪大学大学院国際公共政策研究科博士後期課程単位修得後退学。日本銀行、エスジー山一アセットマネジメント、日本興業銀行、野村証券（野村資本市場研究所へ出向）を経て 2008 年より現職。